

『スパシリーズ』は  
耐酸性、耐アルカリ性、耐温水性、強度性能を  
求められる場所の目地材・接着剤です。

温泉、銭湯、炭酸泉、  
プール、薬品工場、食品工場。  
今まで普通セメントで  
問題のあった施工箇所に！



業界初

あると  
助かるな  
シリーズ

DAIKEN KAGAKU

※イラストはイメージです

■スパメジ、スパボンド、モルエポ性能試験結果

□性状

構成主成分	主 剂	硬 化 剤
	変性エポキシ樹脂	変性ポリアミドアミン
外観	無色半透明液状	黄色半透明液状

□物理的性能

製品名	スパメジ	スパボンド	モルエポ
圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )	42.1	52.7	41.3
曲げ強度(N/mm <sup>2</sup> )	13.9	17.5	13.6

□スパシリーズ(スパメジ・スパボンド・モルエポ) 耐薬品性 25℃

薬品名	水	塩酸(5%)	硫酸(5%)	炭酸ソーダ(5%)	苛性ソーダ(5%)	アンモニア水(5%)	次亜塩素酸ソーダ(6%)	クエン酸(5%)	酢酸(3%)
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
薬品名	乳酸(3%)	塩化カルシウム(3%)	灯油	鉱油	植物油	IPA	食塩水(10%)	砂糖水(10%)	日本酒
判定	○	○	○	○	○	○	○	○	○
試験方法	25℃薬剤に浸漬								

□スパシリーズ(スパメジ・スパボンド・モルエポ) 耐薬品性 50℃

薬品名	水	塩酸(5%)	硫酸(5%)	苛性ソーダ(5%)	仮想高濃度炭酸泉	仮想炭酸泉
判定	○	○	○	○	○	○
試験方法	50℃薬剤に浸漬					

□吸水率 25℃

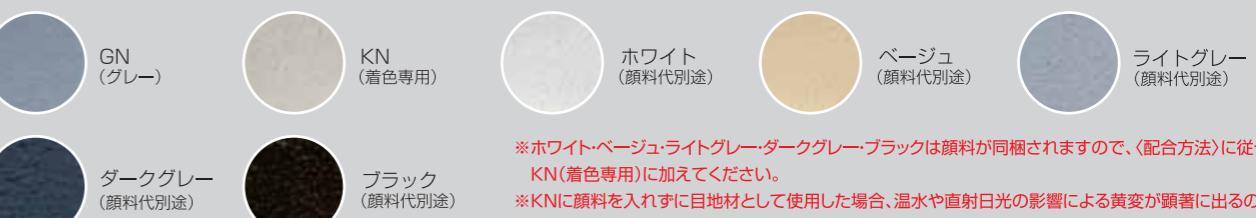
	スパメジ	スパボンド	モルエポ
吸水率	0.36%	0.71%	0.41%

\*セラミックタイル張り用接着剤 JIS A 5548・タイプIの試験方法に準拠

接着剤	試験項目	接着強さ	判定基準	1)標準養生 温度23±2℃、湿度50±10%雰囲気中168時間養生
スパボンド	標準養生	2.49	0.6N/mm以上	2)低温硬化養生 温度5±2℃雰囲気中168時間養生後、さらに同じ条件で672時間養生
	低温硬化養生	2.92	0.3N/mm以上	3)温水浸漬処理 温度5±2℃雰囲気中168時間養生後、50±2℃の温水中24時間浸漬処理
	温水浸漬	2.99	0.3N/mm以上	4)熱劣化処理 温度23±2℃、湿度50±10%雰囲気中168時間養生後、60±2℃中672時間静置処理
	熱劣化	3.47	0.3N/mm以上	5)アルカリ水中浸漬処理 温度23±2℃、湿度50±10%雰囲気中168時間養生後、水酸化カルシウム飽和溶液(23±2℃)中に48時間浸漬処理
	アルカリ水中浸漬	3.27	0.3N/mm以上	

\*セラミックタイル張り用接着剤 JIS A 5548・タイプIの試験方法に準拠

カラーバリエーション



\*ホワイト・ベージュ・ライトグレー・ダークグレー・ブラックは顔料が同梱されますので、  
KN(着色専用)に加えてください。  
\*KNに顔料を入れずに目地材として使用した場合、温水や直射日光の影響による黄変が顕著に出るので、  
顔料無しでの施工は推奨しません。(顔料を加えた場合も変色しないわけではありません。)

\*掲載カラーバリエーションは印刷のため実際の色と異なります。



荷姿 スパメジ、スパボンド、モルエポ

- 2.5kgセット(スパメジのみ)
- 5kgセット
- 10kgセット
- 20kg(10kg×2)セット

- 肌に触れるとき荒れする場合があります。保護手袋等をして作業をおこなってください。  
■保管は、5~35℃の温度で子供の手の届かない、水濡れしない冷暗所で保管してください。

注意点

販売代理店

株式会社 大建化学  
DAIKEN CHEMICAL INDUSTRY CO.,LTD.

〒442-0835 愛知県豊川市新桜町通3-30-5  
tel.0533-86-5625 fax.0533-89-1751  
e-mail info@daikenkagaku.co.jp  
URL http://www.daikenkagaku.co.jp

HPに  
使用方法の  
動画掲載中!

大建化学 スパシリーズ 検索



# 『スパシリーズ』の ここがスゴイ！

➡『スパシリーズ』は使用箇所によって商品をお選びください



## 施工が簡単！

主剤、硬化剤、パウダーをハンドミキサーで混合攪拌できる使いよさが自慢です。

練り上がりが柔らかいため、ゴムコテで簡単に施工できます。

水を含ませたスポンジで拭き取りOK！  
使用した道具類は水洗いできます。

## 抜群の性能！

抜群の耐酸性・耐アルカリ性・耐摩耗性を誇ります。

煮沸10時間以上テスト済みで耐温水性もあります。

洗剤、消毒剤、さまざまな調味料に影響されず安心・安全です。

アルカリ  
酸

## 安全・安心・便利

厚生労働省指針値策定物質(13物質)や有機溶剤を使用していません。  
(F☆☆☆☆)

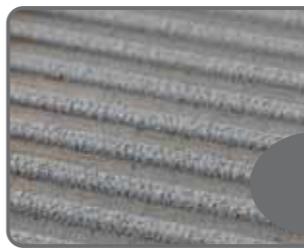
収縮が少なくクラックが入りにくいので寸法安定性に優れています。

チクソ性を持たせていますので、床・壁両方に使用できます。



耐酸、耐アルカリ、耐薬品性に優れた目地材。  
床暖房の目地としても使用できます。

### 目地には



耐酸、耐アルカリ、耐薬品性が必要な箇所等に効果を発揮する強力接着剤です。

### 接着には



耐酸、耐アルカリ、耐薬品性のあるポリマーセメントモルタル。  
床・壁の下地や仕上材及び洗い出しなどに使用できます。

### モルタルには

商品名	スパメジ GN(グレー) KN(着色専用)	スパボンド GN(グレー) KN(着色専用)	モルエボ GN(グレー) KN(着色専用)
使用箇所	<ul style="list-style-type: none"> <li>■酸性温泉 ■アルカリ性温泉 ■炭酸泉 ■塩素酸性洗剤使用箇所</li> <li>■プール等消毒剤に浸される箇所 ■化学工場 ■食品工場 ■厨房の床 ■目地の補修</li> </ul> <p>適用目地幅 2mm～ ※目地部を補修する場合、目地材を塗厚3mm以上目地詰めて下さい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■酸性温泉・アルカリ性温泉のタイル・石材張り ■炭酸泉 ■プール等消毒剤に浸される箇所</li> <li>■タイルonタイル(要サンディング) ■石材on石材(要サンディング)</li> </ul> <p>適応下地 ■コンクリート ■モルタル ■タイル(要サンディング) ■石材(要サンディング)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>■化学工場 ■食品工場 ■厨房の床 ■酸性温泉 ■アルカリ性温泉</li> <li>■炭酸泉 ■洗剤使用箇所</li> </ul> <p>適応下地 ■コンクリート ■モルタル ■タイル(要サンディング) ■石材(要サンディング)</p>
配合比	<p>エポアルファーN主剤16%+エポアルファーN硬化剤19%+スパメジパウダー65%=100%(重量比) ※ホワイト・ベージュ・ライトグレー・ダークグレー・ブラックの場合は上記3点+専用顔料を入れます。 ※作業環境温度が低い場合、主剤の粘度が上がる為、容器に残りやすくなります。容器ごと温めてから使用してください。 ※可使用時間内に使用できるだけ混練するようにして下さい。少量混練する場合は必ず上記配合に準じて計量器を使用して配合してください。 ※スパメジが柔らかい場合は、珪砂の6～7号を加えて粘度を調整してください。(上記配合に対して10%(重量)が限度です。)</p>	<p>エポアルファーN主剤16%+エポアルファーN硬化剤19%+スパボンドパウダー65%=100%(重量比) ※ホワイト・ベージュ・ライトグレー・ダークグレー・ブラックの場合は上記3点+専用顔料を入れます。 ※作業環境温度が低い場合、主剤の粘度が上がる為、容器に残りやすくなります。容器ごと温めてから使用してください。 ※可使用時間内に使用できるだけ混練するようにして下さい。少量混練する場合は必ず上記配合に準じて計量器を使用して配合してください。 ※スパボンドが柔らかい場合は、珪砂の6～7号を加えて粘度を調整してください。(上記配合に対して10%(重量)が限度です。)</p>	<p>エポアルファーN主剤16%+エポアルファーN硬化剤19%+モルエボパウダー65%=100%(重量比) ※ホワイト・ベージュ・ライトグレー・ダークグレー・ブラックの場合は上記3点+専用顔料を入れます。 ※作業環境温度が低い場合、主剤の粘度が上がる為、容器に残りやすくなります。容器ごと温めてから使用してください。 ※可使用時間内に使用できるだけ混練するようにして下さい。少量混練する場合は必ず上記配合に準じて計量器を使用して配合してください。</p> <p>●壁面施工時【上記配合 100%に対し】乾燥珪砂6～7号10%程度添加してください 例 モルエボ10kgセット+珪砂7号1kg ※各施工業者でご準備ください。</p>
配合方法	<p>①練槽、練バケツ等にエポアルファーN主剤、エポアルファーN硬化剤を入れハンドミキサーなどを使用し、液体がムラなく白くなるまで良く混合攪拌してください。 ②ホワイト・ベージュ・ライトグレー・ダークグレー・ブラックは、①で混合攪拌した混合液に専用顔料を加え混合攪拌します。※GN(グレー)は顔料がパウダーに含まれています。 ③上記の混合攪拌液に、スパメジパウダーを半量または半量以下入れ、混合攪拌を行います。スパメジパウダーがしっかりと混ざったタイミングでさらにスパメジパウダーを入れ、混合攪拌を行ってください。スパメジパウダーを一度に入れる量は半量または半量以下にして2回以上に分けて混合攪拌してください。 ※スパメジパウダーは一度に多く入れてしまうと練り上がりが固くなり、使用できなくなることがあります。 ※エポアルファーN主剤・エポアルファーN硬化剤・スパメジパウダー専用顔料・珪砂以外は絶対に入れないでください。</p>	<p>①練槽、練バケツ等にエポアルファーN主剤、エポアルファーN硬化剤を入れハンドミキサーなどを使用し、液体がムラなく白くなるまで良く混合攪拌してください。 ②ホワイト・ベージュ・ライトグレー・ダークグレー・ブラックは、①で混合攪拌した混合液に専用顔料を加え混合攪拌します。※GN(グレー)は顔料がパウダーに含まれています。 ③上記の混合攪拌液に、スパボンドパウダーを半量または半量以下入れ、混合攪拌を行います。スパボンドパウダーがしっかりと混ざったタイミングでさらにパウダーを入れ、混合攪拌を行ってください。スパボンドパウダーを一度に入れる量は半量または半量以下にして2回以上に分けて混合攪拌してください。 ※スパボンドパウダーは一度に多く入れてしまうと練り上がりが固くなり、使用できなくなることがあります。 ※エポアルファーN主剤・エポアルファーN硬化剤・スパボンドパウダー専用顔料・珪砂以外は絶対に入れないでください。</p>	<p>①練槽、練バケツ等にエポアルファーN主剤、エポアルファーN硬化剤を入れハンドミキサーなどを使用し、液体がムラなく白くなるまで良く混合攪拌してください。 ②ホワイト・ベージュ・ライトグレー・ダークグレー・ブラックは、①で混合攪拌した混合液に専用顔料を加え混合攪拌します。※GN(グレー)は顔料がパウダーに含まれています。 ③上記の混合攪拌液に、モルエボパウダーを半量または半量以下入れ、混合攪拌を行います。モルエボパウダーがしっかりと混ざったタイミングでさらにモルエボパウダーを入れ、混合攪拌を行ってください。モルエボパウダーを一度に入れる量は半量または半量以下にして2回以上に分けて混合攪拌してください。 ※モルエボパウダーは一度に多く入れてしまうと練り上がりが固くなり、使用できなくなることがあります。 ※エポアルファーN主剤・エポアルファーN硬化剤・モルエボパウダー専用顔料・珪砂以外は絶対に入れないでください。 ④壁面施工時は、乾燥珪砂を入れ、上記配合内で使用しやすい粘度に調整してください。</p>
使用方法 及び 使用上の 注意	<p>①混合攪拌したスパメジを、ゴム鎌を使用して目地部に詰め、タイル表面に残った目地材を極力かき取ってください。 ②上記作業後、水を含ませたスポンジを軽く絞り、タイル表面についた余分なスパメジに水を馴染ませるようにスポンジで叩きながら拭き取ってください。水を馴染ませて10～20秒程待つとタイル表面に残ったスパメジが取りやすくなります。(作業環境の温度や下地等の温度が暖かいほど早く硬化します。夏期は早めに拭き取ってください)。拭き取りは目地をなぞるのではなくタイル表面に円を描くようにして拭き取ると掘れが少くなります。 ※拭き取り水はできる限り残さないようにして下さい。スパメジが白くなるなどの変色に繋がります。 ③上記処理後10～30分後、スパメジ表面の皮張りが確認されたら再度きれいな水を用いて、スポンジで残りのスパメジを完全に拭き取ってください。※表面がある程度乾かない目地材をひっぱってしまい、タイル表面がきれいになります。 ④タイル表面の状況を確認し、水に濡らしたウエスをよく絞り、入念にタイル表面を綺麗に拭き取ってください。 ※拭き取りが不十分だとタイル表面に目に見えない樹脂が残り、乾くと表面に白く浮かんできます。必ず最後の拭き取りを入念に行ってください。(硬化後は酸洗いやシンナーなどでも落ちません。タイル表面にスパメジが残ってしまった場合は弊社までお問合せください)。 ※使用した道具類は、硬化前であれば中性洗剤を使用した水洗いで清掃可能です。 ■表面に細孔のあるタイル・石材や凹凸のあるタイル・石材・吸水率の高いタイル・石材は焼き付いたり、顔料などがあり込んでの変色、黄変する可能性があります。事前にテストを行ってからご使用ください。 ■石材は目地部から樹脂が染みこんでしまう可能性があります。事前にテストを行ってからご使用ください。 ■油脂、ほこりが残っている箇所、水濡れ下地への使用は避け、施工は5℃～35℃以内の環境温度で行ってください。</p>	<p>①下地は平滑面で、油脂・ほこり・ゴミ等を取り除いてください。 ②&lt;配合方法&gt;で記載した通りに材料を混合攪拌してください。 ③コテでスパボンドを均一に塗布した後、クシ目コテでクシ目を立ててください。 ※1回の塗厚は5mm以内として下さい。但し、床面の場合は除く。 ④スパボンド塗布後、直ちに仕上げ材(タイル・石材等)を張ってください。 ※タイルがずれる場合は、コテ塗後数分放置して張り付けるとずれにくくなります。 ⑤仕上げ材裏面にスパボンドがしっかりと付着するように圧着してください。 ⑥目地詰める場合は、スパボンドの硬化を確認後(張り付け後、夏季8時間以降 冬季16時間以降)行なってください。 ※使用した道具類は、硬化前であれば中性洗剤を使用した水洗いで清掃可能です。 ■吸水率の高い石材・タイル等は染み出しや黄変する可能性があります。事前にテストしてからご使用ください。 ■油脂、ほこりが残っている箇所、水濡れ下地への使用は避け、施工は5～35℃以内の環境温度で行ってください。</p>	<p>①下地にひび割れがないか確認後、油脂・ほこり・ゴミ等を取り除いてください。 ②&lt;配合方法&gt;で記載した通りに材料を混合攪拌してください。 ③混合攪拌したモルエボを取り出し、コテでしっかりと下地と密着するようにしながら均してください。 ④コテや中毛ローラーを使用して仕上げてください。 ※1回の塗厚は壁の場合5mm以内、床の場合10mm以内とし、塗り重ねは硬化を確認後行ってください。 ※樹脂分が多いので粘りがあり、気泡やコムラが発生しやすくなっています。平滑に仕上がる場合で5mm以上塗られる場合は下塗りを行い、養生後、仕上げ塗りを1～2mmの厚みで施工してください。 ※仕上げ塗りの際、コテに粘りつく場合は、コテの表面を水で少し濡らしながら使用してください。(水がモルエボ表面に多く残ると表面が白くなるなどの色ムラの原因になります)。 ※使用した道具類は、硬化前であれば中性洗剤を使用した水洗いで清掃可能です。 ■施工中および施工後早期に強風、降雨、降雪、霧、湿気等の影響を受ける恐れがある場合は、施工を見合わせるなどして下さい。やむを得ず施工する場合は、シート等の覆いなどを使用するなどの処置を行い、影響を受けないようにして下さい。 ■油脂、ほこりが残っている箇所、水濡れ下地への使用は避け、施工は5～35℃以内の環境温度で行ってください。</p>
可使時間	約20～40分(作業環境の温度により大きく影響されます)	約20～40分(作業環境の温度により大きく影響されます)	約20～40分(作業環境の温度により大きく影響されます)
使用量	50角タイル 目地幅5mm 厚さ7mmの場合 約2.4kg/m <sup>2</sup> 150角タイル 目地幅5mm 厚さ10mmの場合 約1.2kg/m <sup>2</sup>	2.5～3.5kg/m <sup>2</sup> (下地平滑面の場合) 比重約1.7	3mm厚の場合 5.1kg/m <sup>2</sup> 比重約1.7